


～ 新春の森に集まろう 山の恵みに乾杯 ～

 相生山の四季を歩く会 2014.1.12

冬の森には 宝物がいっぱい
春・夏・秋には 見えなかったものが 見える

No	標準和名	漢字表記	科	属	花	実	冬芽	point
1	ヒメユズリハ	姫櫟(譲り葉)	ユズリハ	ユズリハ				網状脈 ユズリハ
2	ソヨゴ	冬青	モチノキ	モチノキ				別名: フクラシバ
3	コナラ	小楢	ブナ	コナラ				芽鱗
4	ヒイラギ	柊	モクセイ	モクセイ				芳香 雌雄別株
5	クチナシ	梔子	アカネ	クチナシ				肉質液果 黄色染料
6	ヌルデ	白膠木	ウルシ	ウルシ				果実 分泌物
7	ネジキ	楨木	ツツジ	ネジキ				赤い枝と冬芽
8	ザイフリボク	采振木	バラ	ザイフリボク				紅紫色の芽鱗と白毛
9	アズキナシ	小豆梨	バラ	ナナカマド				完熟果実 冬芽と枝
10	カナメモチ	要糲	バラ	カナメモチ				12月赤熟
11	アオハダ	青肌	モチノキ	モチノキ				短枝

青空 樹形 幹の樹皮 落ち葉の道 冬鳥
完熟した木の实 常緑樹 冬芽と葉痕 冬の色

ザイフリボク

アズキナシ

新年の相生山で出会った野鳥たち (1月7日下見時)



No	標準和名	漢字表記	目	科
1	コゲラ	小啄木鳥	キツツキ	キツツキ
2	ヒヨドリ	鶉	スズメ	ヒヨドリ
3	モズ	百舌	スズメ	モズ
4	ジョウビタキ	尉鶉	スズメ	ツグミ
5	シジュウカラ	四十雀	スズメ	シジュウカラ
6	メジロ	目白	スズメ	メジロ
7	アオジ	青鷗	スズメ	ホオジロ
8	カワラヒワ	河原鶉	スズメ	アトリ

来月のご案内

～ 冬の雑木林を極めよう 冬芽&野鳥～

2月9日(日) 9:30 スタート

今年もよろしくお祈いします

相生山の四季を歩く会
事務局(古川)
ケイタイ: 080-5124-6463
tell/fax: 052-821-6463
eメール: viva_forest@yahoo.co.jp
ホームページ: http://lovelyearth.info/
ラブリーアース 検索

新年1月の樹木

お正月の縁起木

常緑で厚く滑らかな葉が美しく、正月の飾り物に使われるユズリハ。漢字で譲葉と書く。枝先に集まって付く楕円形の葉は、春から初夏、新しい若葉が伸びると、古い葉は下になって落ちる。譲葉の名は「牧野新日本植物図鑑」に、葉の新旧入れ替わりが著しく目立つためにいう、「と解説されている。入れ替わりがはっきりしているのは親子を思わせ、めでたいことでもあるようだ。

ユズリハ

中日サンデー版/2013.12



イラスト・萩原礼子

代替わりを尊ぶ飾り

この詩もユズリハの葉の交代を、親から子へ譲る行為、ととらえている。本欄十一月の「コナラとクヌギ」で取り上げた、相模原市緑区下九沢の相模原北公園には、ユズリハの木が多数あり、観察に好都合だ。(野草研究家)

里山を歩く

福島 誠一

が咲く。秋に楕円形で長さ約一センチの実が、黒っぽい藍色に熟す。葉柄は赤みが帯びている場合が多い。河井醉茗の詩「ゆづり葉」から、真がらないでも、凡てのもがお前たちに譲られるのです。太陽の廻るかぎり、譲られるものは絶えません。」

「子供たちよ、お前たちは何を欲しませんが、黒っぽい藍色に熟す。葉柄は赤みが帯びている場合が多い。河井醉茗の詩「ゆづり葉」から、真がらないでも、凡てのもがお前たちに譲られるのです。太陽の廻るかぎり、譲られるものは絶えません。」

相生山の恵みに 乾杯！！

“果実酒2013”

(No7:スイカズラ=2012年製)

No	樹木名	薬効(?)
1	コバノガマズミ	クエン酸:食欲増進・疲労回復・冷え性・利尿など
2	シャシャンボ	アントシアニン:抗酸化作用・肝機能・疲れ目など
3	カスミザクラ	アントシアニン:抗酸化作用・肝機能・疲れ目など クマリン:抗菌
4	ズミ(キミズミ)	りんごポリフェノール:脂肪低減・疲労軽減・美白など
5	ズミ	
6	サルトリイバラ	根茎=漢方「山帰来」「土茯苓」:解毒・利尿・むくみ・腫れ物
7	スイカズラ	漢方「金銀花」「忍草酒」:抗菌・利尿・腎臓・解毒・皮膚病・強壯

五感で楽しむ

味わって

樹木に親しもう

memo

No	標準和名	漢字表記	科	属	n o t e
1	コバノガマズミ	小葉莢迷	レゴウカク	ガマズミ	対生 花:4~5月/白/散房花序 果実:10月暗赤熟/酸味 ガマズミ・ヤマガマズミ
2	シャシャンボ	小小坊	ツツジ	スギ	樹皮:灰色 剥がれて赤褐色 葉:裏主脈に小突起 果実:11月紫黒熟/液果
3	カスミザクラ	霞桜	バラ	ザクラ	別名:毛山桜 花:4月下旬(最後に咲く) 果実:6月黒紫熟/苦味
4	ズミ(キミズミ)	酢実	バラ	リンゴ	樹皮:黄色染料 別名:小林檜/小梨 *上高地/尾瀬/ハケ岳山麓
5	ズミ				花:4月下旬~5月上旬 果実:10月赤(黄)熟/ナシ状果 リンゴの台木・クシ・器具材
6	サルトリイバラ	猿捕茨	シオデ	シオデ	雌雄別株 葉/茨餅 果実/11月朱赤熟/液果 葉柄に長い巻きヒゲ サルマメ
7	スイカズラ	吸蔓	スイカズラ	スイカズラ	別名:忍冬(にんどう) 対生 花:5月下旬/白 黄/芳香

相生山には ユズリハ(樑)とヒメユズリハ(姫樑)が生育する

日本海側(中部以北)には低木のエゾユズリハ(蝦夷樑)が分布する



体験!山仕事 随時実施
次回:1月13日(祝・月) 現地9:00
岐阜県七宗町神淵 ラブリーアースの山林

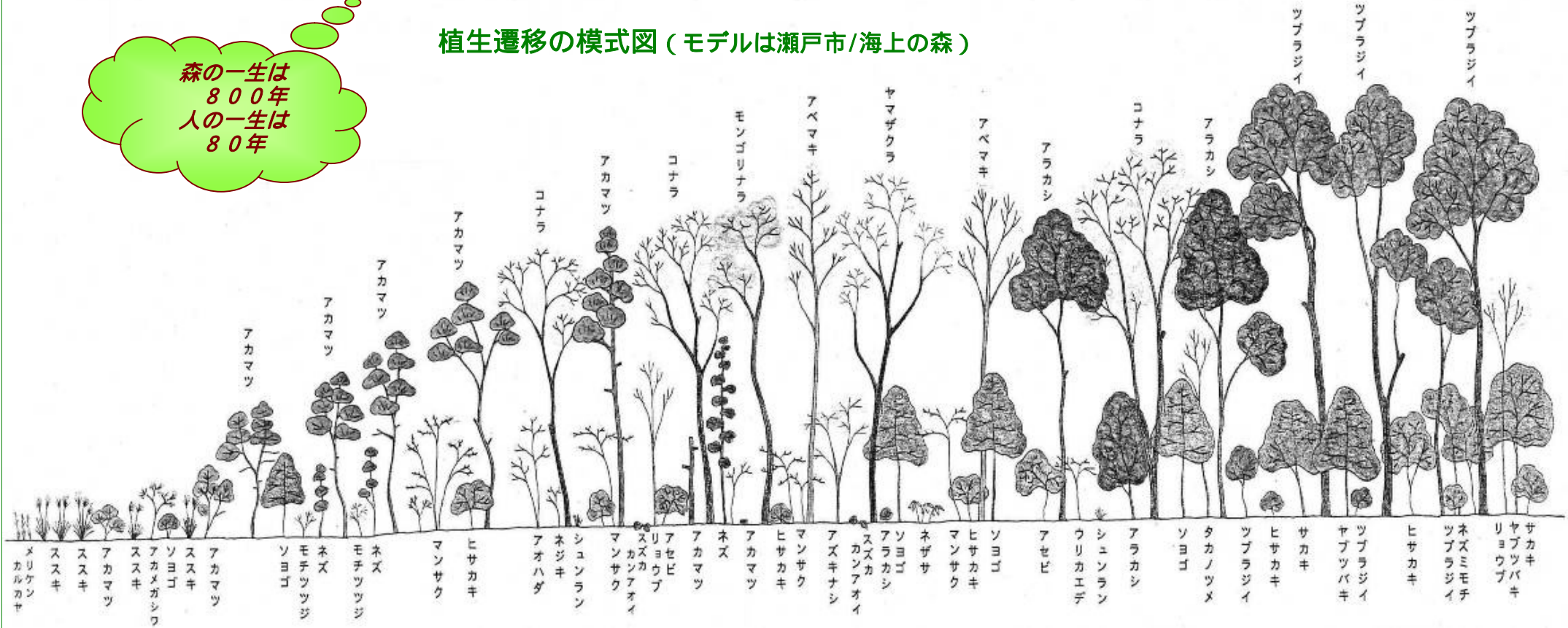
名古屋市タウンミーティング・天白区
1月18日(土)10:00~12:00
天白区役所講堂

問い合わせ・連絡先//080-5124-6463(古川)

自然の森は動いている

植生遷移の模式図 (モデルは瀬戸市/海上の森)

森の一生は
800年
人の一生は
80年



ススキの草原 草本植物 → アカマツが侵入 樹木 → アカマツの林 針葉樹の陽樹林 → 少しずつコナラやアベマキが混じる 落葉広葉樹 → コナラとアベマキの林 落葉広葉樹の二次林 → 少しずつシイやカシが混じる 常緑広葉樹 → ツブラジイの林 常緑広葉樹の極相林

裸地からアカマツ林まで・・・20～50年くらいかかる

裸地からコナラ・アベマキ林まで・・・80～100年くらいかかる

裸地からシイ林まで・・・200～300年くらいかかる

森林が完全に裸地化されると、まず風散布型種子の草本植物が侵入する。
 その中に、アカマツ・アカメガシワやモンゴリナラなどの先駆植物的性格の樹木が侵入し、やがてアカマツ林を形成する。
 アカマツ林となって土壌が安定すると、コナラ・アベマキやヤマザクラなどの肥料分を好む樹木が侵入し、混交林となる。
 日陰に弱いアカマツは徐々に衰退し、やがて、コナラ・アベマキ林となる。
 その頃には、日陰に耐えられるアラカシ・シラカシなどとツブラジイの実生苗が侵入する。
 常緑性ブナ科樹木と夏緑性ブナ科樹木の混交林となり、やがて、より日陰に強い常緑樹林に替わり、極相林に達する。
 この地域の極相林では、一般的にツブラジイが森の中心を占め、周辺にカシ類が生育する事例が多く見られる。

とよた森林学校講座資料、「日本どんぐり大図鑑」(北岡明彦監修)などを参考に作成